



社内の講習会風景。人材育成と各部署の連携強化につながっている。



超軽量オールチタン製車椅子“禅-ZEN-”（左）、オールチタン製の高級自転車“SAMURAI”（右）

「自社技術の活用で、世の中にもものを生み出したい」と一九社長。血液等を分析する際、試料を吸い取る針が試験管にうまく挿入されず曲がってしまうことも少なくない。そこで眼鏡のフレーム等に使われている、しなやかなβ（ベータ）チタン合金に着目。硬くて弾力性が高いため、従来の常識では小径パイプに加工するのは難しいとされていたが、これまで培ってきた、素材を「削る」技術や「伸ばす」技術等を活用し、βチタン製の分析機器用の針（直径1.5～2mm）を開発した。高い復

βチタン合金の素材価値に着目し ニーズの掘り起こしで新市場を創出

さまざまな検査において高い精度が求められるようになってきているが、分析装置の中にタンパク等の汚れがわずかも残ると正確な診断ができなくなってしまう。同社では既存の加工設備に加え、顧客の課題解決につながるような仕上げ・後処理機械をオーダーメイドで開発。血液等の試料を輸送する0.3mmの小径パイプ内を研磨・撥水・絶縁加工することで、汚れの発生を極限まで抑えることに成功した。医療・メディカル分野だけに留まらず、厳格な数値が求められる環境分析等の領域でも注目されている。

解説

知恵のポイント 強みの連鎖を引き起こす 組織作りに注力

製品の高付加価値化やライフサイクルの短期化、在庫負担の軽減といった顧客の要望に対し、二九精密機械工業は独自技術の開発や多品種小ロット生産等による対応で顧客製品の付加価値づくりに貢献しています。

独自技術を生み出し競争優位を築く同社の強みの一つは、人材の有効活用です。微細なβチタン合金小径パイプにレーザーカットや刃付け、穴あけ等加工技術の高い人材、設計力や工学の知識を持つ人材を起用し、多岐にわたる顧客の要望に柔軟かつ迅速な対応が可能となっています。二つ目は、巧みな生産現場と他部署との連携を発揮する組織力の活用です。緻密な生産計画の組み立てや見直し、複数人による脱着作業、工程別検査等で稼働率と品質の維持・向上につなげるとともに、品質管理・営業・購買・製造の各部署が連携を図ることで、受注数に対する段取り数が多くても、コストを効率的に吸収できる仕組みを整えています。

以上の強みを強化するために、同社では、社内モチベーション向上や生産力強化を図る工夫を行っています。例えば、部署別に具体的な取組内容の方針を設けるとともに、講習会実施、向上心を持ち続ける教育制度の導入や評価制度の改善、多様な人材の雇用等によって、強みの連鎖を引き起こす組織作りに注力しています。

応援します！ 創業・経営革新・知恵の経営に取り組む
企業のご相談にお応えします。

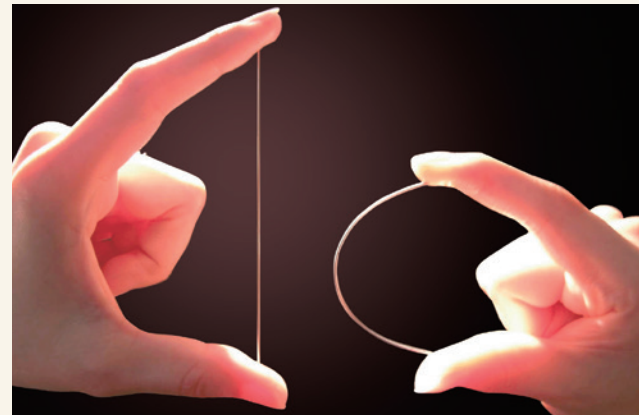
相談
無料

TEL : 075-212-6470
(中小企業経営支援センター 知恵産業推進室)

元性と強度を備えているのが特徴で、現在では世界140カ国以上で普及している。製品開発までに10年の歳月がかかったが、顧客は待ち続けてくれた。「二九にしか頼れないという、技術面の付加価値で勝負できるのが強み」と話す。

中、オールチタン製の高級自転車「SAMURAI」や超軽量オールチタン製車椅子「禅-ZEN-」を開発するなど、同社は技術力のブランド化を進めており、消費者からも高い評価を得ている。

今後、βチタン合金の用途が広がっていけば、さらなる需要の拡大が期待できる。



屈伸性と復元性に優れたβチタン合金小径パイプ

仏具製造で養った職人技と最新 設備との融合で事業を拡張

同社は、1917年にりん・蠟燭立て等、仏具の金属加工を行う店としての創業が始まりである。仏具製品一つひとつを手作業で仕上げ、顧客の千差万別の要望に応えられるよう常に技術を磨き続けてきた。その姿勢は、同社の経営理念を支える柱となっている。法人設立以降は、仏具加工の専業から脱し、ねじの金型製造といった金属加工を始め、最新設備の導入や従業員の増員を行って事業の拡張及び効率化を図ってきた。そのような中でも、創業以来培ってきた

顧客の困り事に提案型で課題解決につながる技術を提供

はの技術が確立されるとの考えに基づき、「4M+SII29」の数式を経営の理念としている。



代表取締役社長の二九良三さん

二九精密機械工業株式会社

代表者／二九 良三
住 所／京都市南区唐橋経田町33-3
TEL / 075-661-2931
URL / <http://futaku.co.jp/>
事業内容／精密機械部品加工、
βチタンパイプの製造等

キラッとひかる
企業の知恵を
ご紹介

「4M+SII29」の理念のもと、 加工技術のさらなる高みを目指す